

北太平洋のタラバガニーII 個体群の構造

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 竹下, 貢二, 松浦, 修平 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014352

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



北太平洋のトラバガニ—II 個体群の構造

竹下貢二，松浦修平

トラバガニの資源動態の研究に必要な個体群構造についての知見を整理して紹介した。又個体群構造とカニの移動・回遊との関係についての筆者らの研究成果をあわせて記述した：1歳半ばから3歳頃までの若いカニは、多数が密集して集合体 (pod) を形成する。その後この集合体は解消され、成長に伴ってカニは分布域を拡大してゆく。成体に達したカニは沖合域と沿岸域との間で季節的回遊を行う。成体雄ガニの個体群構造は、回遊や脱皮と密接な関係があり、又沿岸域に來遊する生殖集団における性比や交尾生態とも関係していると考えられる。

栽培技研, 18(2), 163-169 (1989)